

1972.3.8

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 30

福岡市大字箱崎
九州大学大型計算機センター
共同利用掛 (TEL 092-64-1101)
内線 2256

目 次

- ・ライブラリ関係のファイル名変更のお知らせ 1
- ・SSLのレベルアップについて 2
- ・マクロEIYOOについて 4
- ・新規登録のお知らせ 4
- ・利用の手引ファイル (暫定版 昭和46年6月発行)
の一部分変更について 5
- ・障害ジョブの取扱い方法の一部分変更について 5

◇ ライブラリ関係のファイル名変更のお知らせ

プログラムライブラリ用のファイルが整理され、3月1日から変更されていますのでお知らせします。

順	新ファイル名	旧ファイル名	内 容	形式
1	SYS1.FSSLIB	F.SSLIB	SSL(FORTRAN)	RB
2	SYS1.ASSLIB	A.SSLIB	SSL(ALGOL)	RB
3	QS.PLIB.RB	P.LIB Q.LIB	利用者提供ライブラリおよびセンター開発ライブラリの内、基本的なルーチン	RB
4	QS.PLIB.TEST	P.LIB.TEST	試用期間中ライブラリの内基本的なルーチン	RB
5	QS.ALIB.RB1	A.LIB	利用者提供応用プログラム (原子核コード関係)	RB
6	QS.ALIB.RB2	DYSTAL	利用者提供応用プログラム (DYSTALプログラム群)	RB
7	QS.ALIB.EB	A.LIB.EB	利用者提供応用プログラム	EB

(機番はすべて E.041)

QS.PLIB.RB 以外のファイルは、ファイル名が変更されただけですが、QS.PLIB.RBのファイルは従来のP.LIB,Q.LIBのファイルをまとめたものです。

なお、各ファイルの利用方法は、センターニュース№25で紹介したとおりですが、QS.ALIB.EBのファイルの利用方法がセンターニュース№25ではまちがっていましたので、訂正いたします。このファイルのプログラムを実行させるのは、\$RUNのマクロでできますが、パラメーターFILENAME=QS.ALIB.EB,EBNAME=実行形式プログラム名、UNIT=E.041,VOLNO=E00041を指定する必要があります。

(使用例)

72

\$NO

\$QJOB

\$RUN FILENAME=QS.ALIB.EB,EBNAME=SUCPM, /

UNIT=E.041,VOLNO=E00041

デ - タ

\$JEND

※ この場合、QS.ALIB.EBに登録されているSUCPMのプログラムが実行される。

◇ SSLのレベルアップについて

現在使用中のSSLは

SSL.F-V3.L7 (FORTRAN)

SSL.A-V3.L5 (ALGOL)

ですが、レベルアップされ、3月6日より

SSL.F-V3.L8 (FORTRAN)

SSL.A-V3.L8 (ALGOL)

となります。レベルアップの内容は以下のとおりです。

1. SSL.F-V3.L8により修正された項目

分類コード	呼び出し名	修正内容
C/003	GAUSSD	カウンタルーチンの追加
C/016	SIMP1S SIMP1D	離散点数が偶数のとき、プロミスがあつたのを修正
C/023	GSL10D	係数データに誤りがあつたのを修正
C/025	GSL12D	
C/026	GSL13D	
F/004	HAMPCS HAMPCD	不用演算の除去 解の収束判定の訂正
H/005	FFTS FFTD	定数に誤りがあつたのを修正

2. SSL.A-V3、L8により修正された項目

分類コード	呼び出し名	修正内容
C/003	GAUSSA GAUSSB	パラメータチェックの追加 変換関数 FLOAT の使用ミスがあつたのを修正
C/005	GAS4B	定数に誤りがあつたのを修正
C/016	SIMP1A SIMP1B	離散点数が偶数の時、プロミスがあつたのを修正
C/023	GSL10B	係数データに誤りがあつたのを修正
C/025	GSL12B	
C/026	GSL13B	
C/041	GSH13B	
F/004	HAMPCA HAMPCB	不用演算の除去 解の収束判定の訂正
H/005	FFTA FFTB	定数に誤りがあつたのを修正

3. SSLマニュアルの訂正

SSLの最新マニュアルは、

- ① FACOM230-60SSL使用方法説明書 FORTRAN編第6版
(資料番号 230/60-301~309-001-6)
- ② FACOM230-60SSL使用方法説明書 ALGOL編第4版
(資料番号 230/60-301~309-001-4)
- ③ FACOM SSL 解法解説書第4版
(資料番号 000-301~309-003-4)

ですが、①に誤りがありますので、おしらせします。

142ページのG/019 HOUS2S, HOUS2Dの呼び出し方がまちがっています。

正……CALL HOUS2S (A, KL, N, NEV, V, NEVC, ILL)

CALL HOUS2D (A, KL, N, NEV, V, NEVC, ILL)

誤……CALL HOUS2S (A, KL, N, NEV, ILL, V, NEVC)

CALL HOUS2D (A, KL, N, NEV, ILL, V, NEVC)

このように、パラメータの順序がまちがっていますので、これらのプログラムを使う場合は注意してください。

◇ マクロEIYOOについて

QS.ALIB.EBに登録されている栄養調査統計解析用プログラム(№42 G9/QU/Z/EIYOO)を実行させるためのマクロ\$EIYOOをつくりましたので、おしらせします。

• EIYOO

1 2 3 4 5 6 7

命 令	オ ペ ラ ン ド
\$EIYOO	{ LP=n } [, TIME=n]

• 機能：栄養調査統計解析用プログラムEIYOOを実行させる。

• パラメータの説明

パラメータ	記入したとき	省略したとき
LP=n	実行時の出力ページをn枚で打切る。 nはそのジョブのジョブ種別の打切り以下でないといけない。	ジョブのトータルの出力が対応するジョブ種別の打切り定数で打切られる。
TIME=n	実行時のCPU時間をn秒で打切る。 nはそのジョブのジョブ種別の打切り以下でないといけない。	ジョブのトータルのCPU時間が対応するジョブ種別の打切り定数で打切られる。

• 使用例

\$NO

\$QJOB

\$EIYOO

デ ー タ カ ー ド

\$JEND

◇ 新規登録のおしらせ

以下のプログラムが利用者から提供され、新たに登録されました。

№	IDコード	題 目
53	I9/QU/F/FLDATA	ALGOL-H型のデータファイルの入出力用サブルーチン
54	I6/QU/F/INDATA	ALGOL-H型データの読み込み用サブルーチン
55	H1/QC/Z/MINIMX	線型方程式のミニマックス解
56	H1/QC/F/MINMAX	"
59	C3/QU/F/DERF	誤差関数、余誤差関数(倍精度)

これらのプログラムの内№55はQS.ALIB.EBのファイルに、その他のプログラムはQS.PLIB.TESTのファイルに登録されています。

資料はプログラム相談室、図書室にありますので参照してください。

◇ 利用の手引ファイル(暫定版 昭和46年6月発行)の一部変更について

P.27の下8段からP.28の上2段までを以下のように変更します。

(2) CHANGEの例

CHANGEの場合、出力ファイルは必ず大記憶ファイルでなければならない。

① 磁気テープから大記憶へ

```
$CHANGE FILENAME=QU.SC.MORI.03075,DEVICE=MT,  
TRACK=i,WORKTRACK=k
```

72欄

```
$FD CHANGE{ }-SYSIN,*
```

```
EDIT DDNEW0,DDOLD4
```

```
EDIT,R DDOLD0,MTOLDn(ELM3)
```

```
FIN
```

72欄

```
$FD CHANGE{ }-MTOLDn,FILE=(QU.SC.TEZUKA.00058),/  
UNIT=E.010,VOL=(SPEC,QMU009)
```

◇ 障害ジョブの取扱い方法の一部変更について

3月6日(月)より障害ジョブで再計算が妥当とプログラム相談員が判断しなおかつ、センターが認めたものについては、再計算ジョブの取扱いをします。

下記、再計算依頼方法にしたがつて再計算依頼をして下さい。

なお、キャンセル願書の提出にも変更があります。

◎ 再計算依頼方法

- ジョブ番号は新しくとつて下さい。(センタージョブ処理の都合上)
- 再計算依頼カードに必要事項(旧ジョブ番号、プログラム相談員の認印)を記入の上、キャンセル願書、障害ジョブリストとともに業務第2受付(バンチ受付)に提出して下さい。また再計算の伴わないキャンセル願書も業務第2受付(バンチ受付)に提出して下さい。
- キャンセル願書の出されたジョブについては、負担金のキャンセルは従来通りです。

センターニュース 版 30 の「ライブラリ関係のファイル名変更のおしらせ」は、説明不足でしたので、以下のとおり追加いたします。

ファイル名の変更はニュース 版 30 のとおりですがマクロ \$LIED で指定するファイル定義名 (FD 名) は以下のとおりです。

ファイル定義名 F. SSLIB と A. SSLIB は従来どおりで変更ありませんが、P. LIB と Q. LIB は今回 1 つにまとめられ P. LIB になっていますので御注意ください。

なお、ファイル名の方はマクロ名 \$PLIBRUN 又は \$RUN のパラメータで指定する場合に使用します。

	\$LIEDで指定するファイル定義名	新ファイル名	内 容	形式
1	F. SSLIB	SYS1. FSSLIB	SSL (FORTRAN)	RB
2	A. SSLIB	SYS1. ASSLIB	SSL (ALGOL)	"
3	P. LIB	Q.S. PLIB. RB	利用者提供ライブラリおよびセンター開発ライブラリの内基本ルーチン	"
4	————	Q.S. PLIB. TEST	試用期間中のライブラリの内基本ルーチン	"
5	————	Q.S. ALIB. RB1	利用者提供応用プログラム (原子核関係のプログラム群)	"
6	————	Q.S. ALIB. RB2	利用者提供応用プログラム (DYSTAL 関係)	"
7	————	Q.S. ALIB. EB	利用者提供応用プログラム	EB